



第1図 平城ニュータウン予定地内および付近遺跡分布図

- | | | |
|-----------------|--------------|------------|
| A 中山瓦窯 | B 奈良山51・52号窯 | C 乾谷瓦窯 |
| D 西山塚古墳（円墳） | E 瓦谷古墳（円墳） | F 市坂古墳（円墳） |
| G 上人ヶ平古墳（前方後円墳） | H 市坂瓦窯 | |

平城ニュータウン予定地内（一点破線内）に所在する遺跡（アラビア数字）については、第1表を参照されたい。

I 1973年度の調査について

日本住宅公団による団地造成計画、およびこれに伴う予定地内の分布調査、および発掘調査の経過についてはすでに『奈良山一平城ニュータウン予定地内遺跡調査概報』（1973年3月 奈良県教育委員会）に述べたとおりである。

1973年度の調査は、奈良県・京都府の両府県にまたがって、10月18日から11月16日まで行った。

発掘調査は、奈良市歌姫町で3ヶ所、京都府相楽郡木津町で2ヶ所で行った。この他、数ヶ所で分布確認調査をおこなったが、事業地外であったため、今日の予備調査の対象地からはずした。

以上のニュータウン事業地内所在遺跡とその調査状況は第1表の如くである。

所 在 地	地点	遺跡の種類	調 査 期 間	調査面積	備 考
京都府相楽郡精華町柘榴	1	瓦 窯			事業地外
〃 相和	3	散 布 地			〃
木津町曾根山	4		11月15日～11月16日	30㎡	遺構なし
〃 〃	5	寺 跡 ？	1972年		大仙堂 既報告
〃 〃	6	散 布 地			所在未確認
〃 音如谷	9	瓦 窯	1953年		2 基
			10月30日～11月4日	969㎡	
〃 〃	20	古 墳	1972年		円墳？ 既報告
〃 〃	17	散 布 地	1973年		遺構なし 既報告
奈良市押熊町字堂頭	2	瓦 窯 跡	1972年		6 基 既報告
山陵町当谷	7	石のカタ古墳			保存計画
〃	8	瓦 窯	1970年		3 基 既報告
〃	24	散 布 地			
歌姫町	10	須恵器窯	1972年		1 基 既報告
〃	11	〃	1972年		1 基 〃
〃	12	瓦 窯	1972年		6 基 〃
		須恵器窯	1972年		2 基 〃
〃	13	古 墳	1972年		墳形不明 〃
〃	14	散 布 地			未調査
〃	15	古 墳	1972年		円墳 既報告
〃	16	瓦 窯	1952年		1 基 事業地外
〃	18	散 布 地	1973年		遺構なし 既報告
〃	19	〃	1973年		遺構なし 既報告
〃	21	〃	10月18日～10月25日	4,322㎡	遺構なし
〃	22	〃	10月26日～10月30日	81㎡	遺構なし
〃	23	〃	10月29日～10月31日	3,137㎡	遺構なし

第1表 平城ニュータウン予定地内遺跡調査一覧表



第2図 第21・22・23号地点付近地形図

Ⅱ 調査地点の概要

Ⅱ-1 第21号地点の調査

第21号地点は奈良市歌姫町436・437・438・439・452・453・454・455・456・457番地にわたる山林である。調査は約3m間隔に試掘坑を設定し、遺構があればそれを拡張して遺跡の範囲を確認するという方針でおこなった。瓦片や土器片が含まれていたり、木炭を含んだ層が広がりを見せている部分もあったが、試掘坑を拡張した結果では、確かな遺構は検出できなかった。



第3図 第21号地点遠景

西から